

総務委員会 情報連絡

令和6年6月25日

情報連絡事項	頁
1 住民情報を扱う基幹系業務システムのアクセスログ調査状況について・・・	2
2 「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練の結果について・	4
3 令和5年度プレスリリースサイトを活用した情報発信の実績について・・・	7
4 令和5年度区内六大学との連携事業一覧について・・・・・・・・・・・・・・・・	10
5 あだち虹色寄附 令和5年度の実績報告について・・・・・・・・・・・・・・・・	23
6 第46回「足立の花火」観覧席のふるさと納税返礼品について・・・・・・・・	27

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告事項》

※資料は、子ども・子育て支援対策調査別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 令和6年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業について
- 2 足立区子ども計画策定における今後の予定について
- 3 「アダチ若者会議」の実施について

【参考】《エリアデザイン調査特別委員会 報告事項》

※資料は、エリアデザイン調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 エリアデザインについて
- 2 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 3 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（北綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 4 花畑エリアデザインの取組み状況について
- 5 六町エリアデザインの取組み状況について
- 6 江北エリアデザインの取組み状況について
- 7 西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について
- 8 竹の塚エリアデザインの取組み状況について
- 9 千住エリアデザインの取組み状況について

（ 政策経営部 ）

総務委員会情報連絡

令和6年6月25日

件 名	住民情報を扱う基幹系業務システムのアクセスログ調査状況について
所管部課名	政策経営部 情報システム課
内 容	住民記録システムや税システム等、住民情報を扱う基幹系業務システムについては個人情報保護のため、アクセスログ（基幹系業務システムの全利用者の操作履歴）の調査を行っており、6か月毎に本委員会に調査状況を報告している。 今般、令和5年度の下半期分について不正なアクセスがなかったことを報告する。 1 概要 令和4年11月、他自治体において、業務に必要な個人情報をもたぬ不正に検索して外部に流出させた事件が発覚した。これを受け、令和5年度より「足立区アクセスログ調査実施要領」を制定し、各基幹系業務システムのアクセスログの調査を実施している。 2 調査実施体制 (1) 毎月、各業務所管課が所管するシステムのアクセスログを調査し、結果を情報セキュリティ責任者（各部部長）に報告。 (2) 6か月毎に情報システム課が各システムの報告を取りまとめて、統括情報セキュリティ責任者（政策経営部長）に報告。 3 調査結果 (1) 報告期間 令和5年10月から令和6年3月まで (2) 対象システム 住民情報を扱う基幹系業務 24システム (3) 調査方法 下記および業務の特性に応じた観点で調査を実施 ア 通常の業務量と比較して大量のアクセスログ イ 通常の業務時間外のアクセスログ ウ 通常の業務に不要なデータ抽出処理 (3) 調査結果 ア 各業務所管課から調査結果報告を受け、不正なアクセスが無いことを確認した。 イ 報告事例 (ア) 調査対象期間に業務時間外のアクセスログが全職員で9,727件あったが、係ごとに作業を行った職員への聞き取

り調査をするなどして、各アクセスが必要な作業であったことを確認した。

(イ) 調査対象期間に5回、夜間自動処理によるデータ抽出が行われていたが、いずれも予定されていた処理であり、妥当であることを確認した。

4 今後の方針

年度当初に、アクセスログ調査の実施を庁内に周知することによって不正防止の意識醸成を図ることに加え、継続的に調査を実施して不正の兆候を見逃さない体制を維持する。

また、調査結果については6か月毎に庁内に情報共有していく。

総務委員会情報連絡

令和6年6月25日

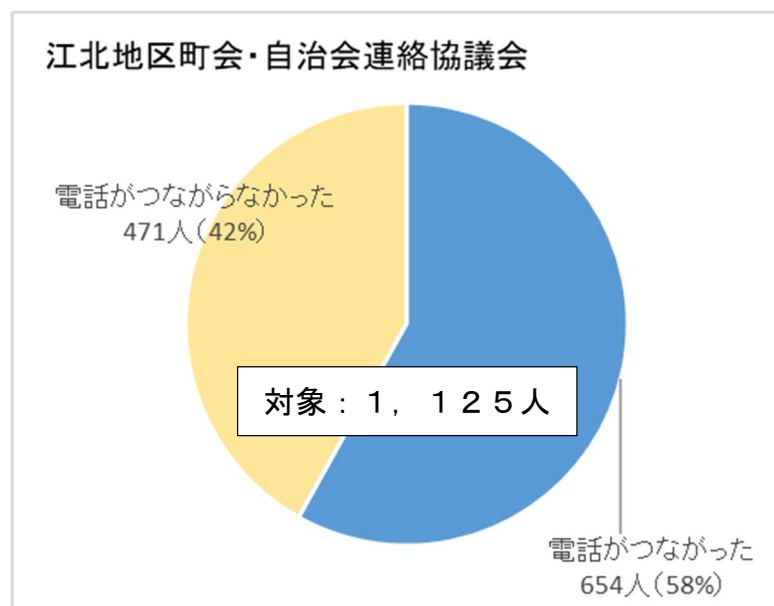
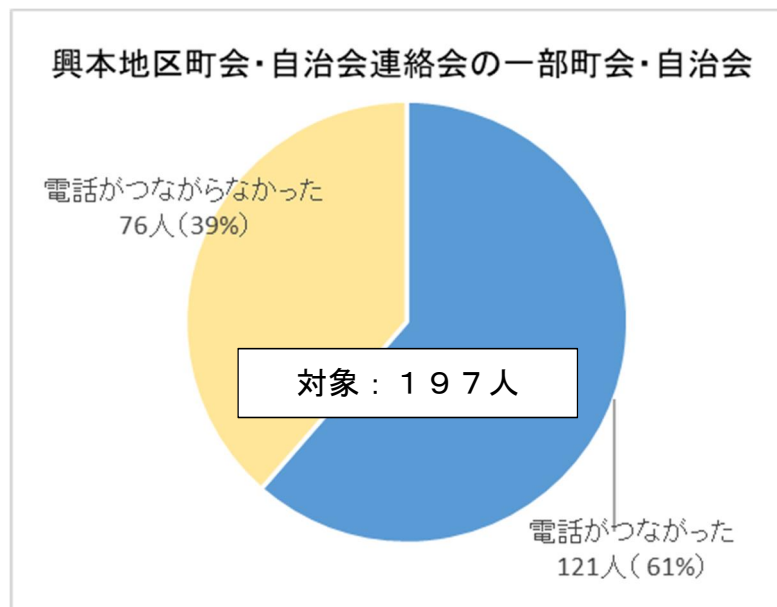
件 名	「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練の結果について
所管部課名	政策経営部 報道広報課
内 容	「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練を実施したので報告する。 1 システムの概要 (1) あだち安心電話 大雨や台風の際に、河川の水位や避難情報などを電話で登録者に自動音声でお知らせするシステム。河川の増水時は、申し込み時の住所で一定のエリアを絞り、氾濫しそうな地域を優先に配信する。6月1日現在31,293件の登録があり、発信には1件あたり約1秒を要する。 (2) あだち安心FAX あだち安心電話のFAX版。聴覚に障がいのある方や、聞こえづらい方への情報発信ツールである。6月1日現在413件の登録があり、デジタル通信のため数秒で発信が終了する。 2 発信訓練について 毎年2回、出水期前及び11月頃にそれぞれ2地区程度（基本的に地区町自連単位）、災害時に備えて発信訓練を行っている。発信訓練を行う地域は、過去に訓練を行っていない地域で河川に近い地域を優先的に行う。 なお、区内に25地区町自連があるため、おおむね6年に1回の頻度で発信訓練の対象となる。 3 訓練目的 (1) 河川水位の上昇時に電話がかかってくることを日頃から意識していただく。 (2) 登録されている電話番号又はFAX番号に、正確に発信できるか確認する。 4 発信内容 水害発生のある恐れがある場合に、あだち安心電話・あだち安心FAXから避難情報等の発信がある旨のお知らせをする。 【発信内容（例）】 これは訓練です。避難の必要はありません。あだち安心電話では、台風などにより、河川の水位上昇・氾濫のおそれがある場合、避難情報などをお知らせします。 いざというとき、自らの身を守るため、ハザードマップを確認するなど、日頃から備えましょう。

5 対象者、実施地区及び日時

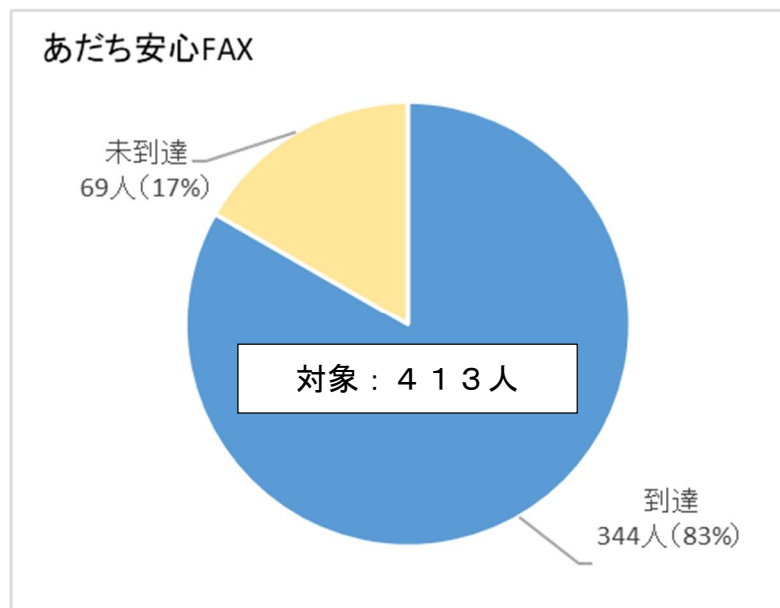
下記実施地区であだち安心電話に登録している方

- (1) 興本地区町会・自治会連絡会の一部町会・自治会
(扇一丁目の一部、扇二丁目の一部、扇三丁目の一部) 197件
5月20日(月曜日)午後3時から発信
- (2) 江北地区町会・自治会連絡協議会
(江北一丁目～五丁目、江北六丁目の一部、江北七丁目の一部、
扇二丁目の一部、扇三丁目の一部、西新井本町二丁目の一部、
堀之内一丁目の一部、堀之内二丁目) 1,125件
5月21日(火曜日)午後3時から発信
- (3) あだち安心FAX 413件(登録中の番号全件)
5月20日(月曜日)午後3時から発信

6 あだち安心電話の実施結果



7 あだち安心FAXの実施結果



8 問題点、今後の取り組み等

- (1) 「あだち安心FAX」については、年に1度の発信訓練を継続する。
- (2) 「あだち安心電話」の電話がつながらなかった件数(547件)のうち、何も操作されなかった484件については、直接電話を掛け、現在使われている電話番号であるか、継続するか等の確認を行っていく。なお、残りの63件は、「発信中に受信者が切断了(携帯電話で着信している時に拒否ボタンを押した)」であり、電話が使用されていることが判明しているため、後追い調査は行わない。

※ 前回(令和5年10月実施分)の「何も操作されなかった方」の後追い調査の傾向は、以下のとおり。

- | | |
|---------------------|------|
| ア 継続の意向 | 約28% |
| イ 脱退の意向又は電話が使われていない | 約32% |
| ウ 後追い調査でも電話に出ない | 約40% |

- (3) 上記イの方については、安心電話の名簿から削除する。後追い調査時に連絡がつかないウの方については、次回の発信訓練まで取り扱いを検討する。

総務委員会情報連絡

令和6年6月25日

件名	令和5年度プレスリリースサイトを活用した情報発信の実績について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内容	区の魅力を区内外に広く発信・拡散することによって、区のイメージアップを図るため、令和4年度よりプレスリリースサイトを活用した情報発信を開始した。令和5年度の実績について、以下のとおり報告する。 1 プレスリリースサイトとは 全国のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEBメディア等に対してプレスリリースを配信することができるWEBサービス。配信した記事はプレスリリースサイトへの掲載だけでなく、各WEBメディアのサイトにも転載される。区では、「PRTIMES」を活用している。 2 年間委託費用 <u>979,000円(税込み)</u> 3 情報発信の実績について (1) 年間発信件数 <u>20件</u> (令和4年度38件) ※ 発信する情報は、区のイメージアップに繋がるもので、かつメディアが取り上げやすい記事を選定している。 ※ 令和4年度は区制90周年に関する情報が多くあり、発信数・閲覧数ともに高い水準であった。

(2) その他実績

	令和5年度実績	閲覧者が多かった記事
閲覧者数	<u>27,495人</u> (令和4年度 94,177人)	① 「舎人公園千本桜まつり」 を開催 (5,840名) ② 「海ノ民話のまち」に認定 (5,620名) ③ セブン-イレブンで懐か しの給食メニューを販売 (2,728名)

	令和5年度実績	広告換算値が高かった記事
広告 換算値	<u>77,133,710円</u> (令和5年度より集計) ※ P R T I M E S 調べ	① 「足立の花火」観覧が ふるさと納税返礼品に！ (39,753,200円) ② セブン-イレブンで懐か しの給食メニューを販売 (15,307,700円) ③ A I を利用した食品ロス 削減の実証実験を実施 (3,334,000円)

	令和5年度実績	メディア掲載が多かった記事
メディア 掲載	<u>WEB 27件</u> ※ 所管課調べ(20媒体 以上への転載が保証され ている原文転載は除く) <u>新聞 15件</u> <u>テレビ 10件</u>	① 無料学習塾「足立ミライ ゼミ」を開校(11件) ② 「足立の花火」観覧が ふるさと納税返礼品に！ (10件) ③ A I を利用した食品ロス 削減の実証実験を実施 (4件)

4 掲載内容

別紙「令和5年度ページビュー・閲覧者数実績一覧」参照(P9)

5 今後の方針

5月末から本格実施している区外に向けたシティプロモーションと合わせ、区のイメージアップを図るために、区の先進的な取り組みなども積極的に発信していく。

令和5年度ページビュー・閲覧者数実績一覧

別紙

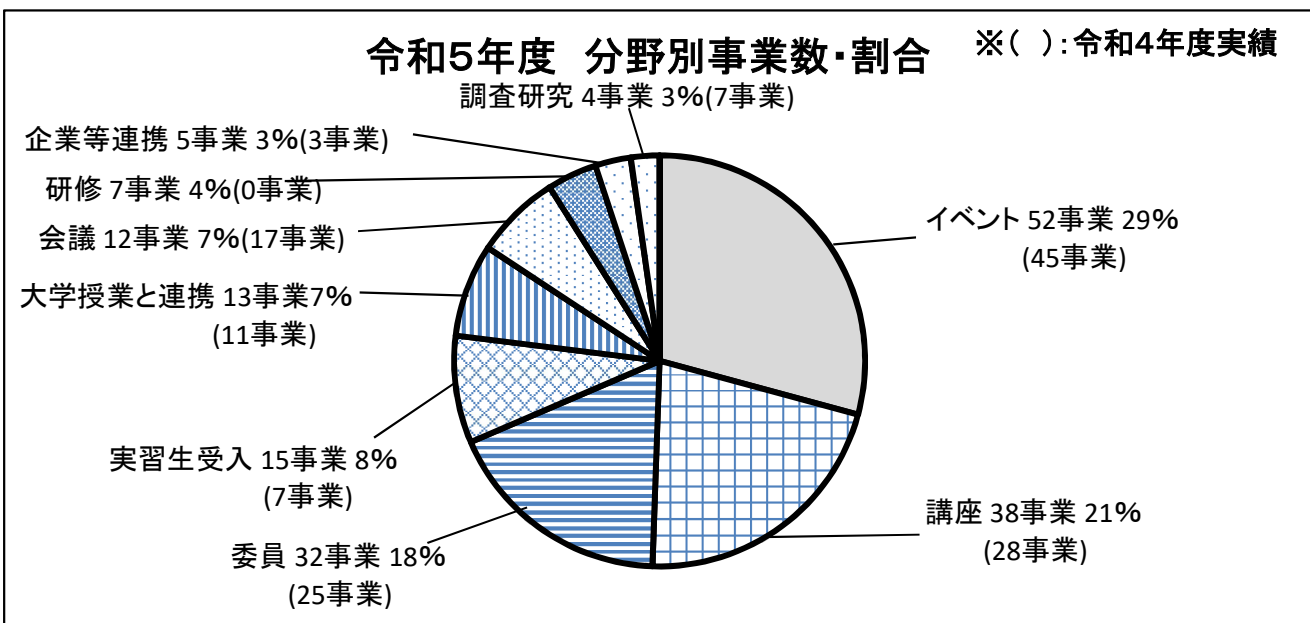
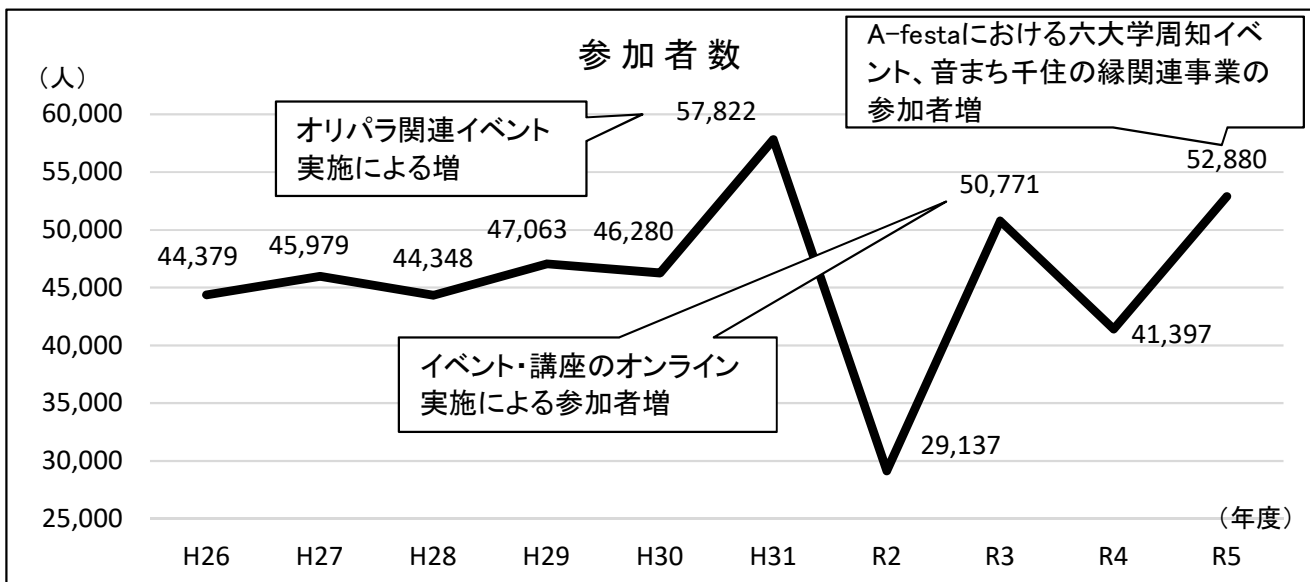
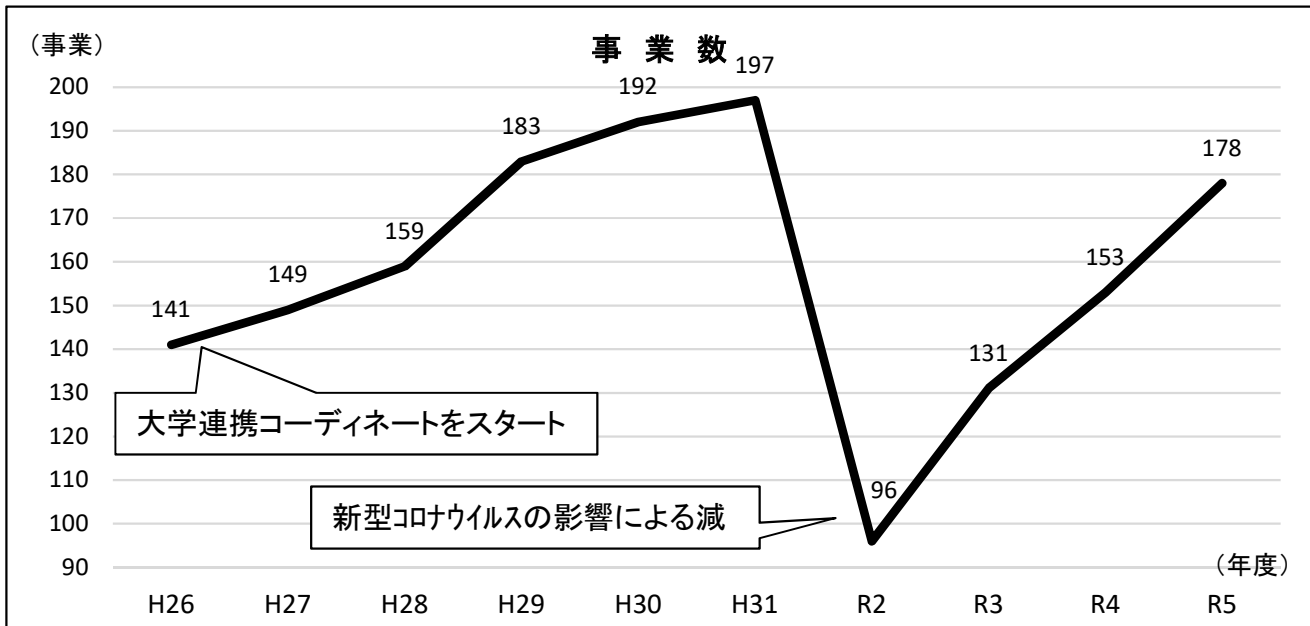
	タイトル	リリース日	閲覧者数 ※1カ月間の 閲覧者数	web	広告換算値 (発信から1カ月間)	掲載実績 ※シティブロモーション課調べ
1	返済不要の「足立区給付型奨学金」第2期募集中	4月7日	860名	29件	964,913円	【WEB1件】リセマム
2	SDGs未来都市足立区 ～「ことりっぴ」×SDGs～ 街歩きガイドブック『ことりっぴ綾瀬』が完成しました	4月19日	784名	32件	697,900円	
3	アサダワタル コロナ禍における緊急アンケートコンサート「声の質問19 / 19 Vocal Questions」再上映をきっかけとしたクロストークを開催	4月20日	495名	34件	319,297円	
4	目指せ、難関大学合格！無料学習塾「足立ミライゼミ」を開校！	5月11日	716名	39件	2,158,100円	【WEB8件】月刊私塾界、リセマム、大学ジャーナルオンライン、こどもとIT、朝日中高生新聞、NHK NEWS WEB、ガジェット通信、朝日新聞デジタル 【テレビ1件】NHK「首都圏ニュース」 【新聞2件】毎日新聞、朝日新聞
5	6/3(土)、4(日)都内有数のハナショウブの名所「しょうぶ沼公園」で「しょうぶまつり」を開催	5月26日	2,534名	36件	1,231,500円	【WEB2件】デジカメwatch、ガジェット通信 【新聞2件】東京新聞(5/27)、東京新聞(5/28)
6	食育月間の6月「あだちベジタベライフ」を、官×民の連携で区内全域に展開します	5月30日	889名	29件	1,349,500円	
7	セブソーイレブン×足立区コラボ企画！6月の食育月間に懐かしの給食メニューを区内のセブソーイレブン135店舗などで販売!!	6月14日	2,728名	30件	15,307,700円	【WEB1件】グルメプレス 【テレビ1件】TOKYOMX「NEWS FLAG」 【新聞1件】読売新聞
8	7月22日(土)、4年ぶり開催「第45回足立の花火」観覧がふるさと納税の返礼品に！	6月15日	2,695名	36件	39,753,200円	【WEB2件】AMP、とれまがニュース 【テレビ7件】日テレ(7/21)、テレ朝(7/22・24)、テレ朝(7/26)、日テレ(7/27)、フジ(7/28)、テレ東(7/29) 【新聞1件】朝日新聞
9	東京都内初！地域に伝わる民話のアニメ化決定！足立区が「海ノ民話のまち」に認定されました	7月25日	5,620名	32件	756,600円	【新聞1件】読売新聞
10	東京23区初！AIを利用した食品ロス削減の実証実験を行います	8月3日	324名	25件	3,334,000円	【WEB1件】Aismiley 【新聞3件】日本食糧新聞、都政新報、日経新聞
11	8月8日はスマイル記念日！夏休み期間中の体験講座の一部を無料化して、子どもたちの笑顔を育みます	8月8日	137名	28件	1,578,900円	
12	モルモット家系図も話題！足立区生物園が10月で30周年を迎えました	10月5日	218名	25件	571,900円	【WEB3件】おくたま経済新聞、news cafe、エキサイトニュース
13	足立区と区内マクドナルドが初タッグ！「自転車カギかけありがとうキャンペーン」に向けた連携協定締結式が開催されました	10月23日	397名	21件	1,163,100円	【WEB1件】BCN media portal 【テレビ1件】NHK「首都圏ニュース」 【新聞1件】朝日新聞
14	「やってみたい」を応援する！コミュニティハブ『あやセンターぐるぐる』が10月29日綾瀬にオープン	10月24日	429名	23件	633,500円	【新聞1件】朝日新聞
15	「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表現街」を開催	10月31日	330名	20件	852,300円	【新聞2件】東京新聞、朝日新聞
16	現代美術家・大巻伸嗣氏による「MEMORIAL REBIRTH 千住 2023 東加平」を開催	11月20日	856名	31件	759,200円	
17	図書館業務を担う任期付職員「図書館サービスデザイン担当課長」を募集	12月1日	279名	24件	772,200円	【新聞1件】都政新報
18	シアター1010 20周年とギャラクシティ30周年を記念した音楽イベントを開催	3月11日	702名	27件	1,057,200円	【WEB2件】game press、エンタメラッシュ
19	1,000本の桜の下で春を満喫！「舎人公園千本桜まつり」を開催します	3月18日	5,840名	34件	2,771,700円	【WEB4件】トラベルwatch、yesnews!!、travel spot、wmr tokyo ライフスタイル
20	「あやセンターぐるぐる」で『mtのり展』を開催！	3月25日	662名	29件	1,101,000円	【WEB2件】やしおん、文具のとびら
			27,495名	584件	77,133,710円	掲載実績 【WEB】27件、【新聞】15件、【テレビ】10件

総務委員会情報連絡

令和6年6月25日

件名	令和5年度区内六大学との連携事業一覧について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内容	令和5年度に実施された、足立区と放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学、文教大学との連携事業についての調査結果をとりまとめたので報告する。 ※ 六大学名の並びは区内での開学・開設順 1 大学連携事業について 区内大学それぞれの専門性を活かし、区と相互に連携して実施する事業であり、区民向けの講座やイベント、庁内各種会議における学識委員の選出など様々な事業を実施している。 活力ある地域づくりや人材育成を図り、地域社会の発展と大学の教育・研究に寄与することを目的とする。 2 実施した事業数 178事業（令和4年度 153事業） ※ 事業数の推移等については資料1のとおり 3 参加者数 52,880人（令和4年度 41,397人） 4 各事業の詳細について 資料2のとおり 5 調査結果の活用について （1）各大学の専門性を活かした事業を展開できるよう、庁内各部署と情報を共有していく。 （2）大学連携事業に関する行政評価の指標として活用する。 （3）区ホームページに掲載し、連携事業の区民への周知を図る。 6 今後の方針 （1）区民ニーズをとらえた大学連携事業の充実を図るため、区と大学による協議を進めていく。 （2）庁内関係部署との連絡会等における情報共有や発信を強化し、事業全体の見える化を進める。 （3）地域や企業・団体と大学の連携企画や学生の地域活動をサポートし、区民が大学を身近に感じる環境づくりに取り組んでいく。

六大学との連携事業



令和5年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

本表の並び順について
「事業区分」①イベント ②講座 ③委員 ④実習生等受入 ⑤大学授業と連携 ⑥会議 ⑦研修 ⑧企業等連携 ⑨調査研究 の順
「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順
なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載
「大学」(足立区での開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学
「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
1	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側、出展	東京足立学習センター	サークル「筆跡研究会」「かかとの会」	生涯学習総合施設「学びピア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びピアの縁側」において、放送大学より2サークルが参加。毎月開催のイベントに可能な限り出展した。	対面	毎月1回	12	—	—	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
2		東京藝術大学	幼児小中学生	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「音楽教育支援事業」	音楽学部	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施する。	対面	通年	—	—	10,699	17,043,000	子ども家庭部	青少年課
5			小中学生	アートアクセスあだち 音まち千住の縁「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。区内の小学校2校と中学校1校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。	対面	1/9、1/16、1/19、1/23、1/25、1/26、1/30、1/31	8	—	227	—	政策経営部	シティプロモーション課
4			全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。平成30年以来となる大規模イベントを東加平小学校で実施した。これまでの縁をつなぎ直すとともに、新たな仲間づくりを行った。	対面	4/1、4/2、6/4、7/14、7/22、7/24、7/28、10/7、10/8、10/28、11/11、11/14、11/19、11/22、11/29、12/3、3/23、3/24	18	—	8,113	—	政策経営部	シティプロモーション課
6				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住だじゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。梅田地域学習センターで開催された梅田クラブ5周年記念コンサートや主催事業「1DAYパフォーマンス表現街」に出演した。	対面	4/19、6/4、8/23、11/12	4	—	1,062	—	政策経営部	シティプロモーション課
7				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表現街」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	地域の人と場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。「1DAYパフォーマンス表現街」では、公募パフォーマー・ゲストアーティストらが、千住ほんちょう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の警備・ボランティア等で千住本町商店街振興組合、千住本町五町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面	11/12	1	—	5,858	—	政策経営部	シティプロモーション課
8				アートアクセスあだち 音まち千住の縁 拠点形成事業「仲町の家」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	161	—	7,206	—	政策経営部	シティプロモーション課
9				足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽部音楽文化学専攻	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり ①保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動(おとあそび研修) ②音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート及び園内研修 ③障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート(二部制)	対面	①5/31、6/28、7/10、9/5、10/4、10/26、12/19、1/30 ②6/16、7/7、10/20、11/7、11/28、1/24 ③11/12	①8回 ②6回 ③1回	①28名 ②園によって異なる。 ③各部定員70名	570	1,400,000	子ども家庭部	子ども施設運営課
10			全区民(未就学児は除く)	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽学部音楽環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信、ワークショップなどを通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。コンサートやワークショップ(R5年度から)を年4〜5回で実施。その一部を後日動画配信する。	オンライン、対面	9/23、11/3、12/23、1/27	4	9/23 100、11/3 200、12/23 100、1/27 20	401	3,868,000	生涯学習支援室	地域文化課
11		東京未来大学	幼児、小学生	こどもみらい祭	—	—	学生組織と地域の小学生が協力して出店企画を実施。令和5年度は千寿小学校、千寿本町小学校、千寿常東小学校、千寿第八小学校より40名の生徒が参加した。	対面	7/22	1	—	1,138	—	政策経営部	シティプロモーション課
12			中高生	アートワークショップ	こども心理学部こども心理学科	高橋文子准教授	大学生指導のもと、アートに興味ある中高生が色鉛筆を使ったデッサン・レジンアクセサリーづくりから自己表現を学ぶ。	対面	6/18	1	25	24	—	子ども家庭部	青少年課
13			大学生	あらかわ自然体験ボランティア	生命環境学部 アニマルサイエンス学科	並木美砂子 特任教授	荒川ビジターセンターのボランティアとして受け入れ、あだち自然体験デーの運営に参加することを主な目的に募集した。コロナ禍以前から計画していたが、大学側の活動や公的な催事が正常化して来たことから、令和5年に本格始動した。	対面	9/16	1	—	2	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
14			全区民	「ながら見守り」パネルディスプレイ	こども心理学部こども心理学科	出口保行教授	「ながら見守り」登録者の増加及び活動のさらなる質の向上と登録者数の増加。	対面	2/3	1	150	236	—	危機管理部	危機管理課
15				防犯・防火駅頭キャンペーン	学友会自治委員会	—	足立区主要4駅(北千住駅、綾瀬駅、竹ノ塚駅、西新井駅)で4年振りに各駅最大200人程度の防犯・防火に関する啓発キャンペーンを開催。区、町会自治会、警察、消防、その他関係団体のほか、東京未来大学の学生にもご協力いただき、約3,000人の方に啓発物品を配布した。	対面	12/2、9	4	—	3,000	—	危機管理部	危機管理課

①イベント
放送大学・東京藝術大学・東京未来大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
16	イベント	東京未来大学	全区民	くらしフェスタ(消費生活展)	こども心理学部こども心理学科	木内菜保子教授/高橋文子准教授	消費者団体などの活動成果の展示や、官公庁・生活関連企業などの情報提供を通じて消費者意識の啓発を図ることを目的とした内容。親子世代がメインターゲットのため、子ども向けのワークショップ(ぶんぶんごま作り、キャンディボット作り)を出展依頼。	対面	10/21	1	ぶんぶんごま作り:300人想定、キャンディボット作り:60人想定	185	—	産業経済部	産業政策課
17		帝京科学大学	幼児	のびのびブレイディ	教育人間科学部幼児保育学科	本多みどり教授/飯泉祐美子教授/杉本信教授/呂曉彤教授/今西ひとみ准教授/木場有紀准教授/旦直子准教授/富岡麻由子准教授/安部久美助教/田口直子助教/松山寛助教/渡辺令子助教/渡部晃子助教/小林咲里亜特任助教	幼児保育学科の大学生と一緒にアクセサリーづくり等9つの遊びのブースを保護者と一緒に自由に遊ぶ。	対面	11/18	1	150	140	666,129	子ども家庭部	青少年課
18			小中学生	フラッグフットボール教室	—	—	一般社団法人キャタピラーズが帝京科学大学のグラウンドにてフラッグフットボール教室を開催。案内チラシを千住地域周辺の小学校に配布した。	対面	5/14、5/21、10/29、11/12	4	各回30名	85	—	政策経営部	シティプロモーション課
19				ボーリング調査の公開	教育人間学部学校教育学科	植木岳雪教授	長門小学校、舎人第一小学校の校庭内でボーリング調査を実施。その様子を小学校高学年生に公開し、足立の地質について解説した。	対面	6/23、26	2	—	120	—	政策経営部	シティプロモーション課
20				体験！1日大学生	生命環境学部生命科学科	佐野友彦教授/堀和芳准教授/山田秀俊准教授	中学生向けにした大学講義を体験することで自らの興味関心を深める。併せて、大学生がキャンパスライフを紹介。	対面	8/26	1	65	67	203,137	子ども家庭部	青少年課
21				夢の体験教室	教育人間科学部学校教育学科中高理科コース	大日向浩教授/植木岳雪教授/小池守教授/倉山智春准教授	小学生向けにわかりやすくした大学の講義を体験する。	対面	12/3	1	60	64	450,355	子ども家庭部	青少年課
22			高校生	青井高校の帝京科学大学見学	入試・広報課広報活動係/教育人間学部学校教育学科	高橋可奈氏/植木岳雪教授	青井高校の高校生1～3年生が帝京科学大学で模擬授業を体験した後施設を見学した。	対面	7/31	1	—	19	—	政策経営部	シティプロモーション課
23			大学生	拉致問題啓発パネルの展示	—	—	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネルを大学構内に展示した。	対面	12/11～15	1	—	—	—	総務部	総務課
24			高齢者	介護予防教室	東京理学療法学科	奥田裕講師	日本ダーツ協会と地域包括千住ブロック合同の介護予防教室「シニア交流ダーツ大会」	対面	11/4	1	100	100	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
25				筋肉組成測定会	医療科学部看護学科	糸井和佳教授	大内病院と共催し、筋肉組成を測定。食生活や運動のアドバイスをを行う	対面	8/26	1	—	22	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
26				ボランティアサークル「足立区を元気にし隊」	医療科学部東京理学療法学科	奥田裕講師	2023年度より、学生がボランティアサークルを結成。活動場所として包括の事業(認知症カフェ、掲示板、封入等)や自主グループの活動を紹介した。また、ケアマネから利用者にスマホの操作を教えてほしいとの相談を受け、サークルにつなげた。	対面	6/24、7/8、15、29、9/2、16、10/7、14、2/16、29、3/9、18	12	3～4	24	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
27			全区民	【防災普及啓発】帝京科学大学学園祭(桜科祭)	—	—	防災クイズ及びアンケートを実施。回答者には、簡易トイレ、クラッカー、除菌シートを普及啓発用として配布。	対面	10/28、29	1	—	550	—	総合防災対策室	災害対策課
28				帝京科学大学学生×地域のシニア おしゃべり処	医療科学部看護学科	田中博子教授、学生	地域のシニアと看護師を目指す大学生とのおしゃべりを傾聴ボランティアがサポートする。	対面	10/3、10	2	129	129	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課
29			—	清掃美化活動実施団体	—	—	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週月曜日	約40	—	320	—	地域のちから推進部	地域調整課
30		東京電機大学	大学生	花いっぱいコンクール	生体反応研究室	—	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	2	—	5	—	地域のちから推進部	地域調整課
31			全区民	北千住美化推進による秋の清掃活動	大学全体	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	11/9	1	—	187	—	地域のちから推進部	地域調整課
32		文教大学	小中学生	あだち子ども未来起業塾	経営学部経営学科	鈴木誠教授	小学5・6年生を対象としたSDGsについて学びながら起業の一連の流れを体験する事業に、ゼミの学生がグルーブメンターとして参加	対面	8/4、8/5	2	25	44	—	産業経済部	企業経営支援課
33				0からENGLISH	国際学部国際理解学科	塩澤泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体感する。	対面	7/8、2/12	2	50	92	—	子ども家庭部	青少年課
34			全区民	千本桜まつり 文教大学地域連携課出展	地域連携課	—	令和6年度開講のオープンユニバーシティの周知PRのため、文教大学地域連携課がブースを出展。大学オリジナルグッズの配布やアンケートを実施した。	対面	3/23、24	1	—	—	—	政策経営部	シティプロモーション課
35				はなはた文教マルシェ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	足立成和信用金庫、花畑地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市も含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/29	1	—	3,000	—	政策経営部	シティプロモーション課

No	事業 区分	大学名	主な 対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加 人数	大学への 支払額	部・室	課
36	イベント	文教大学	全区民	はなはた防災キャンプ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	花畑地域全体の防災意識の向上と大学生と地域住民の交流を目的として、地域と連携した学生主体によるイベントを実施。	対面	7/29	1	—	48	—	政策経営部	シティプロモーション課
37				第38回日本観光研究学会全国大会	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	・全国の観光関連の研究者を招き綾瀬・千住でエクスカーションを実施 ・「Inclusion X tourism」をテーマにシンポジウムを開催。冒頭において工藤副区長が挨拶。	対面	8/8～8/10	1	—	27	—	政策経営部	シティプロモーション課
38				あだちNPOフェスティバル2023ボランティア	—	—	「NPOを知り、体験してもらう」ことを目的に区内で活動するNPO団体やCSR企業が出展するイベント。大学連携を図るため、文教大学にボランティアを募った。	対面	11/18、19	1	—	2	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課
39				花畑ガイドウォーク「花畑でハナハタ知ってハナタカに」	—	学生	桜花亭での講座のあと、実際に花畑地区を歩きながら、地名に潜む自然や歴史について学べるガイドツアーを実施した。地域のことを知っていただく機会として、文教大学の学生にボラティア協力を依頼した。	対面	9/24	1	20	3	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
40				花畑ガイドウォーク「毛長公園＆大鷲神社」	—	学生	地域の事前や歴史について学べる講座＆ガイドツアー。桜花亭で地名などについて学んだあと、現地までガイドと一緒に歩いた。地域のことを知っていただく機会として、文教大学の学生にボラティア協力を依頼した。	対面	11/23	1	20	4	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
41				蜜ろうキャンドル作り	国際学部 国際理解学科	海津ゆりえ教授	自然素材（蜜ろう）を使って、災害時やキャンプ時にも役立つキャンドルを作った。地域連携を深めるため、文教大学に出店を依頼。	対面	11/25	1	100	24	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
42				エラピーといっしょ！！	—	—	文教大学学園祭における選挙啓発を目的としたイベント企画。	対面	11/11、12	2	—	377	—	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局
43			—	TOKYO周穫祭2023・足立区出展ブース 文教大学清水麻帆ゼミナール出展	国際学部国際理解学科	清水麻帆准教授ゼミナール生徒	足立区をイメージしたクラフトビールづくりの活動をPR。	対面	11/18、19	1	—	—	—	政策経営部	シティプロモーション課
44				光の祭典 文教大学清水麻帆ゼミナール出展	国際学部国際理解学科	清水麻帆ゼミナール生徒	足立区をイメージしたクラフトビールづくりの活動をPR。	対面	12/2、3	1	—	—	—	政策経営部	シティプロモーション課
45				地域健康づくり連絡会「出会いの会」交流会での講演	—	中島滋学長	健康づくりに関して、管内で活動している団体や、健康づくり推進員等が一堂に会し、健康づくりに関した講演とともに、互いの事業の報告や紹介を通じて交流し、健康づくりへのモチベーションの向上を図っている。 今回の講演は、4月に文教大学で行われた学長の特別講演を聴講した推進員のリクエストで実現した。	対面	10/31	1	100	95	—	衛生部	東部保健センター
46				ステップアッププログラム	経営学部経営学科	鈴木誠教授	「ステップアッププログラム」セミナーの最終発表会でのコメンテーターとして依頼	対面	2/20	1	—	22	—	産業経済部	企業経営支援課
47		東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	小中学生	小学校自然教室事業（日光・鋸南）	—	—	小学校5年生の鋸南自然教室、6年生の日光自然教室に随行し、教員の補助をする指導補助員・養護指導員として大学生が参加している。	対面	5月～12月	日光67 鋸南67	—	4	—	学校運営部	学務課
48		東京未来大学/東京電機大学	大学生	医療的ケア児の課題解決ハッカソン	こども心理学科/理工学部電子工学系/工学部先端機会工学科	小谷博子准教授/荒船龍彦教授/桑名健太准教授	学生による医療的ケア児の課題解決を目的としたハードウェア・ソフトウェアの開発イベント。	対面	8/7	1	—	39	—	政策経営部	シティプロモーション課
49		東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学/聖徳大学/獨協大学	全区民	あだち未来スケッチ地域活動交流会 大学生アクション	—	—	大学生による地域活動を発表し交流する。	対面	6/24	1	50	29	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課
50		東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	—	秋のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/2、20、11/29	1	—	33	—	地域のちから推進部	地域調整課
51		東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/文教大学		春のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	5/15、19、6/6、21	1	—	33	—	地域のちから推進部	地域調整課
52		六大学	全区民	あだち区民まつり「AーFesta 2023」区内6大学アンケート&ルーレット抽選会	—	—	区内6大学の周知を目的としたルーレット抽選会を実施。参加者には各大学から提供を受けたノベルティグッズをプレゼントした。	対面	10/7、8	1	—	3,440	—	政策経営部	シティプロモーション課

① イベント

文教大学・複数大学

②講座
放送大学・東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
1	講座	放送大学	全区民	(あだち100年大学)生命は地球を出て行けるか	東京足立学習センター	最上善広所長	無重力化での生物への影響と今後の展望を学ぶ。	対面	2/4	1	60	48	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
2		東京未来大学	全区民	L・フェスタ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	島内晶准教授	講座「ハッピーエイジングの心理学」	対面	11/11	1	30	30	－	地域のちから推進部	多様性社会推進課
3				(あだち100年大学)自分を見つめる 働き世代のためのアンガーマネジメント	こども心理学部こども心理学科	日向野智子准教授	感情のメカニズムと「怒り」との付き合い方を学ぶ。	対面	7/9	1	40	34	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
4				(あだち100年大学)共催公開講座「モチベーション論入門～やる気をコントロールする」	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	石橋里美専任講師	モチベーション論を学ぶ。	対面	3/19	1	40	18	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
5				(あだち100年大学)共催公開講座「残したい記憶を絵日記のように描く 記憶画講座」(2日制)	こども心理学部こども心理学科	高橋文子准教授	描き方の基礎を学びながら記憶画を描く講座。	対面	2/22、3/14	2	20	32	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
6				(あだち100年大学)共催公開講座「遊びながら学ぶ わらべ歌の世界」	こども心理学部こども心理学科	高地誠子准教授	わらべ歌の知識を学び、その魅力をさぐる。	対面	2/9	1	16	2	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
7				学生が提案したコースを楽しむ 千住まち歩き	－	森下一成教授ゼミナール生	北千住エリアの商店会を中心にまち歩きを行う。	対面	11/4	1	15	10	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
8				親子で楽しむ 着るみミニ運動会	こども心理学部こども心理学科	今井康晴准教授/西村実穂准教授/岩井真澄講師	大学生が考えたオリジナル運動会を親子で楽しむ。	対面	12/9	1	60	20	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
9		帝京科学大学	大学生	認知症高齢者支援事業	医療科学部医療福祉学科	宮本佳子講師	医療福祉学科1年生の授業の枠内で、「認知症になっても住み続けられるまち足立」を目指し、認知症講座を2日制で実施。 【座学】認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座	対面	7/11、18	2	－	94	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
10				保健医療福祉行政論(地域保健における食品衛生)	医療科学部看護学科	糸井和佳教授	食品衛生行政に関する講義。担当教授からの依頼を受け、令和元年度から実施。食品保健係長による講話を実施。	対面	5/25	1	90	85	－	足立保健所	生活衛生課
11				動物看護コース学生の見学実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	飼育上の留意点、動物園の役割、教育活動紹介などについて紹介。	対面	5/31、6/14、28、7/5	4	－	104	－	道路公園整備室	パークインベーション推進課
12			高齢者	千住カレッジ	医療科学部医療福祉学科	宮本佳子講師	2017年より、地域住民との交流、地域の実情、多様化する生活課題等に対応できる力を養いたい学生にとっての学びの場だけでなく、参加者にとっても多世代交流し楽しく脳トレできる有意義な時間となるように開始した。	対面	5/13、6/3、7/8、8/5、11/4、12/23、1/13	7	18	105	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
13			全区民	あだちの大学リレーイベント企画「大学教授に学ぶ認知症予防運動のススメ」	帝京科学大学大学院医療科学研究科総合リハビリテーション学専攻	潮見泰蔵教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。認知症予防に対する運動の効果と認知上生活に取り入れる方法の解説。後半は班に分かれて学生指導の元、認知症予防運動の実践。	対面	9/16	1	45	45	－	政策経営部	シティプロモーション課
14				(あだち100年大学)メンタルヘルスから考える 誰もが暮らしやすい地域とは	医療科学部医療福祉学科	三木良子准教授	地域全体でメンタルヘルスを考える講座。	対面、オンライン	12/9	1	対面:20、オンライン:20	14	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
15				(あだち100年大学)知れば知るほど奥深い！カメ学入門	生命環境学部アニマルサイエンス学科	野田英樹准教授	馴染み深いカメについてその生態や特徴について学ぶ。	対面	12/2	1	40	39	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
16				あだちどこでも大学「整形外科医が教える長生き足腰のつくり方」	－	渡會公治特任教授	高齢者でも適切なトレーニングで運動機能が改善することを学ぶ。	対面、オンライン	11/24	1	対面:30、オンライン:10	48	－	生涯学習支援室	生涯学習支援課
17				動物愛護講習会「犬・猫としあわせに暮らし続けるために」第1回テーマ「災害からペットを守る」	生命環境学部アニマルサイエンス学科	山本和弘教授	帝京科学大学との連携事業の一環。コロナ禍により令和元年度以降は中断していたが、約4年ぶりに再開した。	対面	1/20	1	40	31	－	足立保健所	生活衛生課
18			－	あだちウェルネスカレッジ 質の良い睡眠から健康を目指して	生命環境学部自然環境学科	小林亮太講師	睡眠の質を上げる日中にとるべき行動(運動、食事、呼吸法など)を最新の研究成果をもとに解説。 スポーツ科学の第一線の講師による、健康体力づくり情報の最前線を区民に提供する事業。	対面	11/20	1	50	34	－	生涯学習振興公社	学習事業部
19				絆のあんしんネットワーク連絡会	医療福祉学部	山田健司教授	地域の見守りについての検討会で講演を依頼した。	対面	6/27	1	－	27	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
20				スポーツ指導者スキルアップ講習会 運動機能向上のためのトレーニング(後期高齢者の運動指導)	医療科学部東京理学療法学科	村上憲治教授	加齢に伴う体の変化や、効果的な運動などを学ぶ。 高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方等を対象とした運動指導の実践講習会。 区スポーツ振興課受託事業。	対面	2/23	2	30	33	－	生涯学習振興公社	学習事業部
21		東京電機大学	小中学生	あだちの大学リレーイベント企画「理科好き集まれ！つくてつなげて電池のナゾを解き明かそう！」	工学部自然科学系列(化学)	田中里美講師	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。フルーツを使った電池づくり、色素増感太陽電池づくりの実験。	対面	10/28	1	40	38	－	政策経営部	シティプロモーション課
22				関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理者事業「夏休みキッズ模型講座」	未来科学部建築学科	都市計画研究室学生	子どもを対象に住環境教育や建物作りを学ぶワークショップ 講座名は「親子で挑戦！建築模型づくり！」。研究室を通じて依頼した学生が参加。	対面	7/29	1	16	11	－	建築室	建築防災課

No	事業 区分	大学名	主な 対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加 人数	大学への 支払額	部・室	課
23	講座	東京電機 大学	小中 学生	科学・ものづくり体験教室	工学部自然科学 系列/工学部応用 化学科/工学部自 然科学系列/工学 部先端機械工学 科/先端科学技術 研究科情報通信メ ディ工学専攻/未 来科学部情報メ ディア学科/工学 部自然科学系列/ 工学部研究生/先 端科学技術研究 科電気電子システ ム工学専攻/工学 部電子システム工 学科	田中里美講師/保倉明 子教授/鈴木孝宗講師 /小林宏史教授/津國 和泉/池田雄介教授/ 長澤光晴教授/井上竜 ノ介/佐々木元気/五十 嵐洋教授	オンデマンドによる「科学」と「ものづくり」をテーマとした5つの工作を実施。	オンライン	8/1～31	1	290	290	1,000,000	子ども家 庭部	青少年課
24				あだちどこでも大学「世界と 瞬時につながる スマホの 最先端通信技術」	—	宮保憲治名誉教授	携帯電話に使われる通信技術の世界と、これからの通信技術の可能性を学ぶ。	対面、オン ライン	3/10	1	対面：25、オ ンライン：10	25	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
25			全区民	イタリアの都市の魅力と美 の建築様式探訪の旅	未来科学部建築 学科	横手義洋教授	イタリアの文化と魅力に触れる講座。	対面	6/17	1	50	47	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
26				電大de学びピアノコンサート バイオリンとチェロを愉しむ	—	—	東京電機大学で開催するコンサート。	対面	9/2	1	85	89	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
27				電大イブニングセミナー 皮膚のデザイン 身体と衣 服の可能性	—	—	衣服と身体のデザインから「技術と美しさ」の未来像について講演。	対面	12/25	1	100	74	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
28				産学連携技術促進事業 「機械・装置類の劣化・破 損・腐食のメカニズムとそ の防止」	工学部機械工学 科	齋藤博之教授	機械・装置類の破損原因の解明・再発防止などを検討する。	対面	6/21、28	2	40	41	—	産業経 済部	企業経営 支援課
29				産学連携技術促進事業 「人工知能(AI)の現状と活 用検討」	理工学部理学系 用検討」	日高章理准教授	AIがどのように活用できるのか、理解を深める。	対面	11/8、15	2	40(講演 会)、10程 度(相談会)	31	—	産業経 済部	企業経営 支援課
30				産学連携技術促進事業 「電大の面白い研究室を見 学してビジネスのヒントを得 よう！」	人間支援工学研 究室 など	井上淳教授など	大学の様々な研究に触れて、ビジネスのヒントを得る。	対面	2/8	1	30	23	—	産業経 済部	企業経営 支援課
31		文教大学	小中 学生	あだちの大学リレーイベ ント企画「プログラミングでド ローンをとばそう！！」	情報学部情報シ ステム学科	櫻井淳講師	六大学の特色を活かした区民向け講座等のリレーして実施。 子ども向けプログラミングソフト「Scratch」を使用してドローンを飛行させる。保護者向けにはプログラミング的思考の意義について解説。	対面	6/18	1	40	64	—	政策経 営部	シティプロ モーション 課
32				夏休みスペシャル！小中 学生ナマガくん広場	人間科学部人間 科学科	二宮雅也教授/学生	大学生が運営する子どもの居場所。	対面	8/2、6、9、13、 16、20、23、27	8	10	125	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
33			全区民	皆援隊講座「外国にルーツ を持つ子どもたちの支援を 考える」	国際学部国際理 解学科	孫美幸准教授	外国にルーツを持つ子どもたちの支援について考える区民向け講座。多文化共生について研究されているため、孫美幸准教授に講師依頼をした。	対面、オン ライン	7/14	1	対面40人、 オンライン 50人	62	—	あだち未 来支援 室	協働・協創 推進課
34				皆援隊講座「ワタンが若者 支援をはじめたワケ」	人間科学部人間 科学科	青山鉄兵准教授	孤立や貧困、引きこもりなど若者たちが抱える様々な悩みや問題について知り、自分たちにできる支援について考える講座。	対面、オン ライン	12/3	1	対面20人、 オンライン 20人	26	—	あだち未 来支援 室	協働・協創 推進課
35				「買い物」の心理学	人間科学部心理 学科	鎌田晶子教授	心理学の視点から「買い物」を考える。	対面、オン ライン	10/28	1	対面：40、オ ンライン：20	29	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
36				あだちどこでも大学「世界 遺産の光と影」	国際学部国際理 解学科	久保庭慧専任講師	世界遺産の陰の部分に光を当てて学ぶ。	対面、オン ライン	2/10	1	対面：30、オ ンライン：10	27	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
37		東京未来大 学/文教大 学	全区民	高校生によるあだち未来ス ケッチ発表会	—	—	高校生が自ら行う探究学習や地域貢献活動について発表。運営を大学生有志が行う。	対面	11/19	1	50	34	—	生涯学 習支援 室	生涯学習 支援課
38		六大学	大学生	皆援隊講座「子ども食堂ス タッフ体験」(1・2回目)	—	—	実際に調理・実食を行い、こども食堂スタッフの体験ができる講座。	対面	7/16、10/22	2	対面20人	41	—	あだち未 来支援 室	協働・協創 推進課

②講座 東京電機大学・文教大学・複数大学

③委員
放送大学・東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学・文教大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
1	委員	放送大学	—	窓口DX構築業務委託プロポーザル選定委員会	教養学部情報コース	中谷多哉子教授	窓口DX業務委託プロポーザル選定会委員。	オンライン	4/14、5/29、7/4	3	—	15	—	政策経営部	ICT戦略推進担当課
2		東京藝術大学	—	足立区文化芸術劇場運営評価委員会	音楽学部音楽環境創造科・大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価。	対面	12/25	1	10	4	—	生涯学習支援室	地域文化課
3		東京未来大学	—	足立区いじめ等調査委員会	こども心理学部こども心理学科	大橋恵教授	足立区いじめ等調査委員会の委員。	対面	11/30、12/21、1/18、2/8、3/13	5	—	15	—	総務部	特命・調査担当課
4				公契約等審議会委員	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	田中真奈美教授	足立区公契約等審議会の学識委員。	対面	6/22、10/6、11/1、2/28	4	4	16	—	総務部	契約課
5				足立区立学童保育室指定管理者等評価委員会	こども心理学部こども心理学科	今井康晴准教授	令和4年度業務について、事業運営が適正にされているかどうか評価を実施することを目的とする。	対面	7/20、2/2	2	—	—	—	地域のちから推進部	住区推進課
6				足立区バラスポーツ推進協議会	こども心理学部こども心理学科	藤後悦子教授	スポーツを通じた共生社会実現のための協議会。	対面	3/14	1	—	23	—	生涯学習支援室	スポーツ振興課
7				足立区ひきこもり支援協議会	こども心理学部こども心理学科	藤後悦子教授	ひきこもり状態にある本人及びその家族の抱える悩みが多岐にわたることを踏まえ、足立区の地域性、本人等の状況に応じた支援のあり方や支援体制の検討及び情報共有の場を設け、ひとりでも多くの本人等を支援につなげることを目的とする。	対面	12/20	1	21	21	—	足立福祉事務所	くらしと子どもの相談センター
8				足立区立校外施設指定管理者評価委員会	こども心理学部こども心理学科	小林久美教授	区立小生が利用する校外施設を運営する指定管理者を評価するにあたり、大学の教授から専門的な意見をいただくことで、より適切な評価を実施することができる。	対面	8/4	1	6	4	—	学校運営部	学務課
9				子ども支援専門部会特別部会員	こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	対面	7/14、12/19、3/22	3	—	60	—	子ども家庭部	子ども政策課
10		帝京科学大学	—	足立区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会	教育人間科学部幼児保育学科	本多みどり教授	足立区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会の学識委員。	対面	7/20、8/8	2	—	28	—	子ども家庭部	子ども政策課
11		東京電機大学	—	足立区情報公開・個人情報保護審議会	システムデザイン工学部情報システム工学科	松井加奈絵准教授	情報公開制度及び個人情報保護制度の重要事項に関して区長からの諮問を受けて答申する。	対面、オンライン	8/30、12/26、3/25	3	—	—	—	政策経営部	区政情報課
12				足立区個人情報保護評価委員会	システムデザイン工学部情報システム工学科	松井加奈絵准教授	業務委託の安全管理措置が十分であるか評価する。	対面、オンライン	4/26、5/17、6/14、7/12、9/22、11/16、12/14、1/18、3/19	9	—	—	—	政策経営部	区政情報課
13				令和5年度足立区のSDGs推進にかかる綾瀬駅西口高架下空き店舗運営業務受託事業者評価委員会	未来科学部建築学科	荻原雅史講師	令和5年度 足立区のSDGs推進にかかる綾瀬駅西口高架下空き店舗運営業務 受託事業者評価委員会のアドバイザー。	対面	3/15	1	—	—	—	政策経営部	SDGs未来都市推進担当課
14				「区立小・中学校への再生可能エネルギー導入事業」プロポーザル選定委員	未来科学学部建築学科	百田真史教授	区立小・中学校への太陽光発電設備導入事業についてのプロポーザル選定委員会の学識委員(委員長)。足立区環境審議会の委員(副会長)をお願いしている。	対面	4/4、5/11、6/12	3	—	15	—	環境部	環境政策課
15				モデル地区におけるプラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託プロポーザル選定委員	未来科学学部建築学科	百田真史教授	中間処理施設についての選定会の学識委員。環境審議会副会長。	対面	10/30、12/13、1/10	3	—	15	—	環境部	足立清掃事務所
16				足立区ユニバーサルデザイン推進会議	未来科学部建築学科	山田あすか教授	足立区ユニバーサルデザイン推進会議の学識委員	対面	5/12、1/23、3/26	3	15	52	—	都市建設部	都市建設課
17				足立区バリアフリー協議会	未来科学部建築学科	山田あすか教授	足立区バリアフリー協議会の学識委員	書面	4/29～5/31、6/9、7/21～8/9、9/1、11/1～12/14、3/1	6	38	117	—	都市建設部	都市建設課
18		文教大学	—	足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託プロポーザル選定委員会	情報学部メディア表現学科	ボブ田中教授	足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託プロポーザル選定委員会。	対面	6/29、8/23、9/26	3	—	15	—	政策経営部	シティプロモーション課
19				文教大学外部評価委員会	—	—	区職員が大学の外部評価員として、教学全般に関する事項その他を評価する。	対面	2/26、3/14	2	—	12	—	政策経営部	シティプロモーション課
20				あだち子どもの未来応援基金審査会	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員。	対面、書面	4/24、7/6、12/11	3	—	5	—	あだち未来支援室	子どもの貧困対策・若年者支援課
21				足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会	教育学部発達教育課程	小野里美帆教授	足立区学童保育室整備計画に基づき、公募を実施した民設学童保育室応募事業者が学童保育室運営に適しているかどうかを審査することを目的とする。	対面	8/31	1	—	—	—	地域のちから推進部	住区推進課
22				新製品・新事業開発補助金選考委員	経営学部経営学科	田中克昌准教授	新製品・新事業開発補助金の採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/30、7/28	2	—	—	—	産業経済部	企業経営支援課
23				勤労福祉会館指定管理者選定審査会	経営学部	青木勝一准教授	勤労福祉会館の指定管理者選定審査会の委員	対面	8/7、9/7	2	—	6	—	産業経済部	企業経営支援課
24				創業プランコンテスト選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員	対面	一次～6/30 二次7/24	2	—	10	—	産業経済部	企業経営支援課
25				足立区立校外施設指定管理者選定審査会	人間科学部人間科学科	青山鉄兵准教授	小学5年生が自然教室で利用する鋸南自然の家を運営する指定管理者を選定するにあたり、大学の教授等から専門的な意見をいただくことで、より適切な審査を実施することができる。	対面	5/12、7/21、8/30	3	6	18	—	学校運営部	学務課

No	事業 区分	大学名	主な 対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加 人数	大学への 支払額	部・室	課
26	委員	文教大学	—	創業支援施設入居者選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員	対面	10/13、3/22	2	—	9	—	産業経済部	企業経営支援課
27		放送大学/ 千葉大学	—	足立区基本計画審議会	—	宮本みち子名誉教授	足立区基本計画の策定に関し必要な事項を調査審議する。	対面	8/31、9/7、 11/6、1/16、 2/14、3/28	6	—	—	—	政策経営部	基本計画担当課
28		東京未来大学/東京電機大学/文教大学		足立区区民評価委員会	こども心理学部こども心理学科/未来科学部建築学科/人間科学部人間科学科	藤後悦子教授/荻原雅史講師/宮地さつき講師	足立区区民評価委員会の学識委員。	対面、オンライン	4/20、6/28、 30、7/4、10、 14、19、20、 24、27、31、 8/3、22、 9/12、10/18	22	—	—	—	政策経営部	政策経営課
29		放送大学/ 東京電機大学		子ども家庭支援システム構築業務委託事業者選定委員会	教養学部情報コース/未来科学部ロボット・メカトロニクス学科	中谷多哉子教授/桧垣博章教授	子ども家庭支援システム構築業務委託事業者の選定。令和3度実施「情報システム支援業務委託業者」にて、選定委員を依頼した。	オンライン	10/12、2/20	2	—	14	—	政策経営部	情報システム課
30		東京藝術大学/東京未来大学/文教大学		足立区ギャラクシティ運営評価委員会	音楽学部/こども心理学部こども心理学科/教育学部	伊志嶺絵里子非常勤講師/渡辺千歳教授/山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	7/24、9/12	2	10	11	—	生涯学習支援室	地域文化課
31		文教大学/ 東京電機大学		公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会	国際学部国際観光学科/システムデザイン工学部情報システム工学科	清水麻帆准教授/松井加奈絵准教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会における学識委員。助成の給付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。まちづくり活動成果発表会への出席および講評。	対面	7/24、11/6、 2/6	3	11	112	—	都市建設部	まちづくり課
32		東京未来大学/帝京科学大学		公益財団法人足立区スポーツ協会における評議員会	こども心理学部こども心理学科/教育人間科学部学校教育学科学部	小谷博子准教授/持田尚准教授	公益財団法人足立区スポーツ協会における評議員(学識)。	対面	2/28	1	25	23	—		スポーツ協会

③委員

文教大学・複数大学

④実習生受入

東京未来大学・帝京科学大学・文教大学・複数大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
1	実習生受入	東京未来大学	大学生	心理実習(障がい福祉センターあしすと)	こども心理学部こども心理学科	石倉篤心理臨床センター特任講師	公認心理師資格取得に向けた見学実習。	対面	7/14	1	25	25	－	福祉部	障がい福祉センター
2			－	障がいのある方の運動・スポーツ教室	こども心理学部こども心理学科	藤後悦子教授	スポーツを通じた障がい者理解を進めるため、障がいのある区民を対象として区が実施している軽運動やサッカーの教室へ、藤後教授のゼミ生に体験参加いただいた。	対面	10/21	1	－	14	－	生涯学習支援室	スポーツ振興課
3		帝京科学大学	大学生	看護実習	医療科学部看護学科	－	地域包括支援センターで臨地実習	対面	8/28～31、2/13～15、2/27～29	9	6	6	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
4				実習	医療科学部看護学科	－	在宅看護学実習Ⅰ	対面	2/13～16	1	2	6	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
5				社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	－	地域包括支援センターで臨地実習	対面	10/13、16、19、20、23、25、27、30、11/21、28、12/1、5	12	2	2	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
6				社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	－	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	10/2～10/30	1	1	1	－	足立福祉事務所	生活保護指導課
7				インターンシップ	生命環境学部アニマルサイエンス学科	－	生物学や飼育を専門にしている学生に、キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	8/1～8/16	1	－	1	－	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
8			高齢者	在宅看護実習	医療科学部看護学科	福井郁子講師	地域包括支援センターを利用する生活者を理解し、多職種と連携・協働しながらその人々を支援する各専門職の役割を学ぶ	対面	2/13～15、2/27～29	2クール	－	2	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
9				相談援助実習	医療科学部医療福祉学科	一色哲教授/宮本佳子講師	相談援助実習(社会福祉士課程)及び実習報告会	対面	8/16～9/19、1/20	24	－	1	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
10		文教大学	大学生	教育実習	人間科学部	－	社会福祉士資格取得に向けたソーシャルワーク実習。	対面	8/21～9/22	1	1	－	－	福祉部	障がい福祉センター
11			－	臨床心理実習	人間科学部臨床心理学科	－	大学院生2名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	通年	40	2	2	－	子ども家庭部	教育相談課
12		東京未来大学/文教大学	大学生	インターンシップ事業	こども心理学部こども心理学科/人間科学部臨床心理学科	－	主に大学3年生を1週間程度、各所属に派遣し、仕事体験をしてもらう。足立区の職場を体験し、働くイメージをもってもらうことで、足立区の入区希望者を増やすことが目的。	対面	8/21～9/15	2	10	8	－	総務部	人事課
13		東京未来大学		保育実習	こども心理学部こども心理学科	－	保育士免許取得のための実習。	対面	8/31～9/15	2	2	24	－	福祉部	障がい福祉センター
14		帝京科学大学/文教大学		学芸員実習	生命環境学部自然環境学科/国際学部国際観光学科	－	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/19～29	1	6	4	－	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
15		東京未来大学/文教大学		心理実習(子ども家庭支援センターげんき)	こども心理学部こども心理学科/人間科学部臨床心理学科	－	学部生をこども支援センターげんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明した。	対面	6/21	1	29	29	－	子ども家庭部	教育相談課

No	事業 区分	大学名	主な 対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加 人数	大学への 支払額	部・室	課
1	大学授業 と連携	東京藝術 大学	大学生	新入生オリエンテーション	音楽学部音楽環境創造科	—	音楽環境創造科の新入生に対して、足立区の魅力やトラスト等の制度について解説。	対面	4/4	1	—	50	—	政策経営部	シティプロモーション課
2		東京未来 大学	大学生	地域連携Ⅰ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	春学期	—	—	16	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課
3				地域連携Ⅱ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	秋学期	—	—	3	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課
4				まちづくり論	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	NPO団体がゲストスピーカーとして、自身の活動等について講演。仕事観や地域活動等について学生の学びに寄与する機会として森下一成教授から登壇の要望があり、実施。	対面	5/11、25	2	—	—	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課
5				医療的ケア児の疾患理解とたん吸引について	こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	こども家庭支援センターげんきの看護師が大学の授業において、医療的ケア児の疾患理解に関する座学、たんの吸引に関する実習を実施。	対面	11/9、10	3	—	246	—	子ども家庭部	支援管理課
6		帝京科学 大学	大学生	帝京科学大学自然環境学科 野外実習	自然環境学科	森長真一准教授	荒川下流域ならではの環境の特性を知り、身近な自然を理解することに繋げることを目的とし、帝京科学大学自然環境学科にて行われる環境野外実習。	対面	7/3	1	—	40	—	道路公園整備室	パークインベーション推進課
7				母性看護学実習（見学実習）	医療科学部看護学科	藤井美穂子教授	多様性社会推進課長による講義 6回開催 計35名 L・フェスタ（イベント参加、講座聴講） 計19名	対面	11/7～2/22のうち8日	8	—	54	—	地域のちから推進部	多様性社会推進課
8		文教大学	大学生	公共経営実地演習	経営学部経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。	対面	通年	1	—	30	—	政策経営部	シティプロモーション課
9				ゼミ活動報告会	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	海津ゼミナールの2023年度上半期活動報告会。 ・各班からの活動報告を傍聴。	対面	7/27	1	—	30	—	政策経営部	シティプロモーション課
10				専門ゼミナールⅠ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	エコツーリズムの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する。 ・シティプロモーション課長による講話を実施。	対面	6/22	1	—	20	—	政策経営部	シティプロモーション課
11				地域調査演習	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	行政職員とのインタビューを通して、地域課題等を考える。 ・シティプロモーション課職員が参加。	対面	11/14	1	—	6	—	政策経営部	シティプロモーション課
12				地域プロジェクト演習Ⅱ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案をまとめる演習で、課題の提供や地域団体の紹介を行った。	対面	9/21、1/18	2	—	28	—	政策経営部	シティプロモーション課
13				日本生徒指導学会第24回東京あだち大会	経営学部経営学科	新井立夫教授	生徒指導に関する研究発表会を行うとともに、シンポジウム等を通して生徒指導の実践及び研究に携わる者の交流を図る。	対面	11/4、11/5	1	—	500	—	政策経営部	シティプロモーション課
14				サービスラーニング	国際学部国際理解学科	渡邊三津子准教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ。	対面	通年	—	—	16	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課

⑤ 大学授業と連携
東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学・文教大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
1	会議	東京未来大学	高齢者	常東地域あんしん拡大推進会議	エンロールメント・マネジメント局	阿部央雄専門課長	11/17に常東地域あんしん拡大推進会議を開催した。常東地区の住民や事業所を対象にグループワークを行い、災害について話し合いを行った。災害時の住民の困り事、不安な事、今後どのような街にしていきたいかを話し合った。今回の会議の前に運営委員による打ち合わせを数回実施。未来大学も常東地区の機関として参加していただき一緒に検討を行った。	対面	11/17、3/14	2	40	42	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
2			－	東京未来大学外部評価委員会	－	－	区職員が大学の外部評価員として、大学の理念・目的に関する事項その他を評価する。	対面	2/20	1	－	－	－	政策経営部	シティプロモーション課
3				常東あんしん拡大推進会議運営委員会	エンロールメント・マネジメント局	阿部央雄専門課長	常東あんしん拡大推進会議に向けた会議の運営、内容について検討	オンライン	6/13、10/11、2/15	3	7	21	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
4		帝京科学大学	小中学生	小学生理科作品発表会	教育人間科学部学校教育学科	小池守教授	小学生が関心のあるテーマについて深く調べて、作品(A3用紙2枚)を区へ提出。審査会で一人、優秀賞を選び、東京都へ提出する。小池教授は平成26年度から理科安全教育研修会の講師を依頼しており、審査及びコメントをお願いした。	対面	9/28	1	－	38	－	教育指導部	教育指導課
5			高齢者	地域ケアネットワーク	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	医療福祉学科の学生による千住便利隊と千住見守隊の一年間の活動について、地域資源として地域のケアマネジャー等と情報共有を図る	対面	1/19	1	24	100	－	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
6		文教大学	－	パークミーティング	－	－	桜花亭主催の地域の会議。文教大学地域連携課も出席のうえ、地域の各種イベントの情報を共有した。	対面	6/27、9/29、2/27	3	－	60	－	政策経営部	シティプロモーション課
7				経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。	対面	7/10、1/30	2	13	20	－	産業経済部	産業政策
8		東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	大学生	大学祭等の実行委員の情報交換会	－	－	実行委員が一堂に集まり、お互いの大学祭に関して情報交換を実施。区からはあだち広報等、大学祭の周知に協力できる支援を説明した。	対面	6/21、12/21	2	－	38	－	政策経営部	シティプロモーション課
9		東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学		令和5年度 第2回 区政を語り合う会～区内大学生と語り合う～	－	－	区内大学の大学生から足立区や地域とのかかわり、また足立区の魅力についての意見をいただき、今後の区政運営の参考とする。	対面	12/6	1	－	10	－	政策経営部	区民の声相談課
10		放送大学・千葉大学/東京未来大学	高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	－	宮本みち子名誉教授/角山剛教授	孤立ゼロプロジェクト推進連絡会の委員として助言等を行っている。 (一人暮らし高齢者の孤立対策、絆のあんしん協力員や町会・自治会の方の見守り意識の向上という視点から)	対面	2/1	1	26	25	－	地域のちから推進部	絆づくり担当課
11		東京未来大学/帝京科学大学	－	教育利用研究会	こども心理学科/こども学部幼児保育学科	高橋文子准教授/小林祐一准教授/木場有紀准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/14、9/14、11/30、2/19	4	－	41	－	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
12		六大学		実務者会議	－	－	各大学の実務者と区で情報共有を行う。	対面	7/14、11/17、3/28	3	－	63	－	政策経営部	シティプロモーション課

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
1	研修	東京未来大学	—	主任教諭任用時研修	こども心理学部こども心理学科	小林祐一准教授	校内で効果的なOJTを行うために、「コーチングスキル」を習得することを目的とする。	対面	6/29	1	105	79	—	教育指導部	教育指導課
2				第6回1年次(初任者)研修	こども心理学部こども心理学科	小林祐一准教授	「コーチング」についての基本的な理解を深め、日々の児童・生徒への指導に生かすことを目的とする。主任教諭任用時研修で好評だったので、再度依頼した。	対面	10/24	1	133	127	—	教育指導部	教育指導課
3				「子どもとの接し方」～子どものココロを覗いてみよう～	子ども心理学部	藤後悦子教授	あだち放課後子ども教室の安全管理員(以下、スタッフと言う)、及び体験プログラムや見守りのボランティアの方やサポーターの方を対象として、大人に心無い言葉を向けたり、反発するなど、気になる言動をする時の子どもの心理面を学ぶ内容とする。子どもの気持ちを理解することで、子どもと接する大人の心の負担を軽減することを目的として研修を実施した。対面で実施した後日研修撮影動画をスタッフ限定で配信。	対面	2/16	1	186	71	—	生涯学習振興公社	学習事業部
4				「子どもとの接し方」～相手も自分も大切にするとコミュニケーションのヒケツ～	子ども心理学部	日向野智子准教授	あだち放課後子ども教室の安全管理員(以下、スタッフと言う)を対象に、「アサーティブ・コミュニケーション」と言われる(「アサーション」など他の言い方もある)、相手を尊重しながら自分の思いを伝えるコミュニケーション手法を、理論及び事例を交えたワーク(2～3名)で学んでいただき、見守り活動に活かしていただくことを目的として研修を実施した。	対面	11/30	1	90	20	—	生涯学習振興公社	学習事業部
5		帝京科学大学	—	第2回理科安全教育研修会	教育人間科学部学校教育学科	小池守教授	理科教育における安全確保と事故防止対策を目的とする。小池教授は中学校での現場経験があり、教員希望の学生を指導する立場にあるため、依頼をしている。	対面	10/27	1	30	35	—	教育指導部	教育指導課
6		文教大学	—	足立区民生児童委員協議会第三合同視察研修	—	—	民生児童委員として「足立区を知る」をテーマに研修。区の大きな事業である大学誘致に着目し、区内大学の取り組みを学んだり・大学生との交流したりすることで、足立区を再発見する研修とした。	対面	11/16	1	—	60	—	福祉部	福祉管理課
7				第4回副校長連絡会	副学長兼経営学部長経営学部経営学科	石塚浩教授	毎月の定例校長会資料の内容について理解を深め、副校長間で意見交換を行うことを目的とする。毎回、関係各課から必要な事務連絡を行っていたが、現状を鑑み、「組織マネジメント」の講義をしていただける講師をシティブロモーション課大学連携担当係長に紹介していただいた。	対面	2/20	1	106 (対象者数)	90	—	教育指導部	教育指導課
1	企業等連携	東京未来大学	大学生	東京都住宅政策本部と連携した、都営住宅及び周辺地域の活性化に係る連携・相互協力について	—	—	都営住宅に入居した学生による地域のコミュニティ活動支援に向けた、大学と都の協議の調整を区が行った。	対面	4月～10月	—	—	—	—	政策経営部	シティブロモーション課
2				東京未来大学2023年プレゼンテーションⅡ大会	エンrollment・マネジメント局	キャンパスアドバイザー 田中翔氏・安藤功一氏	東京未来大学の1年生を対象とした「プレゼンテーション」の授業(5クラス200名)において、「大学生地域活動プラットフォーム」に参加している足立ブランド認定企業(16社)を対象としたテーマに沿った企画の、学生たちの発表会。	対面	2/1	1	—	200	—	産業経済部	産業振興課
3		東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会連携センター	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	書面	通年	1	—	—	26,573,000	産業経済部	企業経営支援課
4				産学連携技術促進事業 技術相談事業	研究推進社会連携センター	小島芳和産学連携コーディネーター	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	随時	—	—	46	—	産業経済部	企業経営支援課
5		東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	—	—	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタビュー。区内企業との商品開発。	対面	通年	17	—	91	5,000,000	政策経営部	シティブロモーション課
1	調査研究	東京未来大学	—	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部こども心理学科	横畑泰希准教授	公園あそび(冒険あそび)にて、こどもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。また、プレイヤー養成に関する指導も願う。	対面	4/22、9/29、2/24	3	—	15	—	道路公園整備室	パークインベーション推進課
2		帝京科学大学	—	さのいこいの森	教育人間科学部幼児保育学科長	本多みどり教授	研究課題「ピクトーブと畑の実態把握:幼児に対する環境教育・食育の活性化」を目的に、さのいこいの森にある畑を活用する。	対面	6月～3月	—	—	5	—	政策経営部	シティブロモーション課
3				足立区の地層の研究	教育人間学部学校教育学科	植木岳雪教授	区内小学校や公園でボーリング調査を実施し、足立の現在の地形の成り立ちを研究。	対面	通年	—	—	—	—	政策経営部	シティブロモーション課
4				リクガメの消化速度に関する研究への協力	生命環境学部アニマルサイエンス学科	野田英樹准教授	全国のリクガメを飼育している園館で消化速度の一斉調査を行う。生物園はケヅメリクガメのデータを提供。	オンライン	5/23、8/28、11/20、2/20	4	—	—	—	道路公園整備室	パークインベーション推進課

⑦⑧⑨

研企調

査等研

連究

携

東京東京東京

未来未来未来

大学大学大学

・・・

帝京帝京帝京

電科学科学

機学学学

大学大学大学

・

複数

大学

総務委員会情報連絡

令和6年6月25日

件名	あだち虹色寄附 令和5年度の実績報告について					
所管部課名	あだち未来支援室 協働・協創推進課、政策経営部 財政課					
内 容	1 あだち虹色寄附の令和5年度実績					
	(1) 寄附実績一覧					
	年間実績		令和4年度		令和5年度	
			件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)
	あだち虹色寄附		617件	296,060	1,151件 (+534)	141,696 (△154,364)
	内 訳	個人分 (ふるさと納税)	492件	244,042	1,047件 (+555)	94,587 (△149,455)
		企業・団体分	125件	52,018	104件 (△21)	47,109 (△4,909)
	※ () は前年度との差					
	令和4年度と比較して、 <u>件数は約1.9倍増加し、過去最高の件数</u> となり、一方、寄附額は前年から1.5億円減少となった。					
	(2) 寄附実績の増減要因					
ア 寄附件数の増要因として、ふるさと納税返礼品（令和4年度64品→令和5年度196品）及びポータルサイトの拡充に加え、またふるさと納税業務の委託化により、寄附申込みに対するスムーズな書類発送や返礼品発注等が可能となり、寄附をより呼び込めるようになった。						
イ 寄附金額の減要因として、令和4年度は大口の寄附（1億円が1件、5千万円が2件）があったが、令和5年度はそのような大口の寄附がなかった。						
(3) 寄附の受入先に関する変更点						
コロナ対策医療従事者支援及びコロナ対策中小事業者支援については、感染症法上の位置づけが変更になったことを受けて、令和5年6月末で受付を終了した。						

(4) 寄附受入実績

(令和5年度の件数の多い順に掲載)

寄附の使い道 ※()は基金名	令和4年度		令和5年度	
	件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)
1 育英資金貸付などの進学支援(育英資金積立基金)	61件	81,768	367件 (+306)	25,330 (△56,438)
2 子ども食堂・児童養護施設 設巢立ち支援(あだち子どもの未来応援基金)	178件	19,474	361件 (+183)	25,975 (+6,501)
3 動物愛護事業	138件	2,952	102件 (△36)	1,720 (△1,232)
4 緑の保全・維持管理活動 (緑の基金)	48件	2,286	75件 (+27)	3,968 (+1,682)
5 絵本の読み語り事業	20件	1,250	64件 (+44)	2,811 (+1,561)
6 特別養護老人ホーム等の 整備(地域福祉振興基金)	21件	111,725	62件 (+41)	54,798 (△56,927)
7 文化芸術振興活動の支援 (文化芸術振興基金)	11件	290	36件 (+25)	1,203 (+913)
8 ボランティア・NPO活動 支援(協働・協創パートナー基金)	89件	3,689	30件 (△59)	3,179 (△510)
9 パラスポーツ普及事業	7件	500	30件 (+23)	1,323 (+823)
10 環境保全活動の支援 (環境基金)	4件	311	19件 (+15)	1,087 (+776)
11 その他の寄附	6件	20,062	4件 (△2)	20,264 (+202)
12 コロナ対策中小事業者 支援 【令和5年6月末受付終了】	7件	464	1件 (△6)	38 (△426)
13 大学病院施設等整備 基金	1件	100	-	-
14 コロナ対策医療従事者 【令和5年6月末受付終了】	26件	51,188	-	-
合 計	617件	296,060	1,151件 (+534)	141,696 (△154,364)

※表示金額は表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため合計に一致しない場合がある。

（５）返礼品実績

別紙のとおり

２ 今後の方針

ポータルサイト経由での寄附件数・金額は、いずれも令和４年度の２倍以上となっている。大口寄附の見込みは立てられないものの、今後も寄附額の増を目指し、引き続き返礼品の拡充とＰＲに取り組む。

３ その他

令和６年１月１５日（月曜日）から３月３１日（日曜日）まで「石川県輪島市」「石川県七尾市」へのふるさと納税を活用した寄附金の代理寄附受付（※）を行った。区内外の多くの方々からご寄附をいただき、以下の金額を被災自治体に渡した。

【輪島市】 9,322,010 円（寄附件数：385 件）

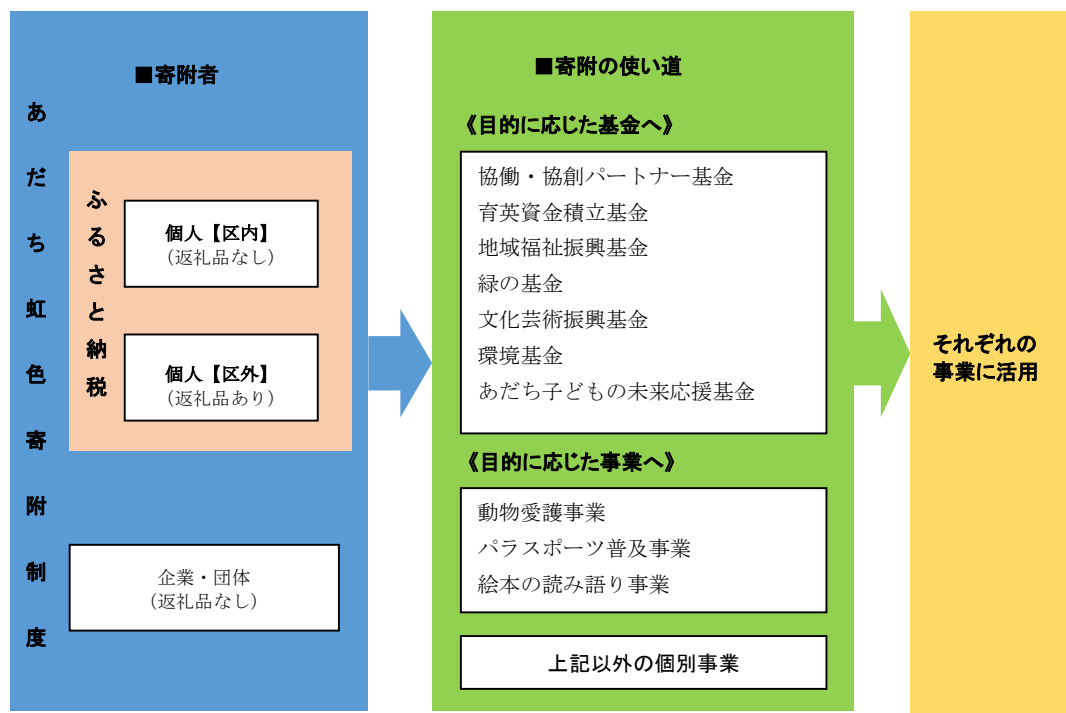
【七尾市】 3,069,517 円（寄附件数：141 件）

※ 代理寄附受付

被災自治体に代わり、被災していない自治体が寄附を受け付け、事務処理を代行する協力関係のこと。被災自治体の業務の負担を大幅に減らし、いち早く皆様からの支援を届けるための仕組み。

（参考） あだち虹色寄附制度の体系について

寄附する額によって住民税などが優遇される「ふるさと納税制度」を内包させ、寄附者が使い道を選び、自身の想いを区の事業に反映させる仕組みとしている。



令和5年度 あだち虹色寄附 年間寄附件数&金額 TOP20

1 件数

順位	返礼品名	寄附額 (円)	実績数 (個)	寄附額合計 (円)
1	ヨックモック シガール 30本入り	12,000	346	4,152,000
2	宇豆基野本店コース料理 2名様お食事券	23,000	57	1,311,000
3	花火チケット (シングルシート)	17,000	40	680,000
4	樹苞 (きぼう) の手延べ焼小籠包セット	15,000	26	390,000
5	ナッコプセ ホルモンとタコ、魚介類の鍋料理 ヨプの王豚塩焼 韓国料理	17,000	24	408,000
6	【DOUBLELOOP】藤巻百貨店別注: JOURNEYエンブroidアリー2WAYボディバッグ	87,000	22	1,914,000
6	【伝統工芸/東京手植ブラシ】手植え洋服ブラシ お手入れクシセット	69,000	22	1,518,000
8	花火チケット (4人がけテーブル席)	60,000	20	1,200,000
8	HIRO(ヒロ) 自転車 子供乗せ チャイルドシート レインカバー 【後ろ(リア)用】	48,000	20	960,000
8	キャラメルアーモンドブラリネ 120個 (10個入x12袋)	24,000	20	480,000
11	丸上食品 幻のジャンボ餃子	12,000	19	228,000
12	【DOUBLELOOP】 JOURNEY resort tough バリスティックナイロントートバッグ	116,000	15	1,740,000
12	味問屋明日香本店コース料理 2名様お食事券	70,000	15	1,050,000
12	玉子焼器 銅製 長方形(13×18cm) 中村銅器製作所 板厚1.5mm	33,000	15	495,000
15	チュコプセ ホルモンとイダコ、魚介類の鍋料理 『ヨプの王豚塩焼』 韓国料理 YOPU	17,000	13	221,000
16	【お肉屋さんのこだわり】特選黒毛和牛ハンバーグ	14,000	11	154,000
16	医療器具屋さんが作った耳かき 医療職人の技	13,000	11	143,000
16	大江戸きんつば詰合せ 12個入	13,000	11	143,000
19	【HARUTA】ハルタ コインローファー men's	51,000	9	459,000
19	牛すじ煮込みと牛タンシチューのセット	16,000	9	144,000

2 金額

順位	返礼品名	寄附額 (円)	実績数 (個)	寄附額合計 (円)
1	【大峽製靴】藤巻別注オーバーナイトトート	922,000	6	5,532,000
2	ヨックモック シガール 30本入り	12,000	346	4,152,000
3	【DOUBLELOOP】藤巻百貨店別注: JOURNEYエンブroidアリー2WAYボディバッグ	87,000	22	1,914,000
4	【DOUBLELOOP】 JOURNEY resort tough バリスティックナイロントートバッグ	116,000	15	1,740,000
5	【伝統工芸/東京手植ブラシ】手植え洋服ブラシ お手入れクシセット	69,000	22	1,518,000
6	宇豆基野本店コース料理 2名様お食事券	23,000	57	1,311,000
7	花火チケット (4人がけテーブル席)	60,000	20	1,200,000
8	味問屋明日香本店コース料理 2名様お食事券	70,000	15	1,050,000
9	HIRO(ヒロ) 自転車 子供乗せ チャイルドシート レインカバー 【後ろ(リア)用】	48,000	20	960,000
10	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【5万円分】	170,000	5	850,000
11	花火チケット (シングルシート)	17,000	40	680,000
12	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【3万円分】	103,000	6	618,000
13	ランドセル (牛革ボルサ)	250,000	2	500,000
14	玉子焼器 銅製 長方形(13×18cm) 中村銅器製作所 板厚1.5mm	33,000	15	495,000
15	キャラメルアーモンドブラリネ 120個 (10個入x12袋)	24,000	20	480,000
16	【HARUTA】ハルタ コインローファー men's	51,000	9	459,000
17	ナッコプセ ホルモンとタコ、魚介類の鍋料理 ヨプの王豚塩焼 韓国料理	17,000	24	408,000
18	樹苞 (きぼう) の手延べ焼小籠包セット	15,000	26	390,000
19	HIRO(ヒロ) 自転車 フロント チャイルドシート レインカバー 【前用 ハンドル一体型・あと付け型 対応】	44,000	6	264,000
20	ラビット自転車 チャイルドシートレインカバー 後ろ用 ブラック×フチベージュ ヘッドセット	46,000	5	230,000

※令和5年度10月より寄附額が変更となったため、寄附額合計が合わない場合があります。

総務委員会情報連絡

令和6年6月25日

件 名	第 4 6 回「足立の花火」観覧席のふるさと納税返礼品について																															
所管部課	あだち未来支援室 協働・協創推進課																															
内 容	令和 6 年 7 月 2 0 日（土）に開催される第 4 6 回「足立の花火」について、以下のとおり、一部の観覧席をふるさと納税返礼品とする。																															
	1 寄附申込受付期間 令和 6 年 6 月 2 2 日（土）午前 0 時 ～ 7 月 1 0 日（水）																															
	2 募集サイト ふるさとチョイス																															
	3 返礼品提供席・席数・寄附額																															
	<table><tr><th>エリア</th><th>種類</th><th>席数</th><th>寄附額</th></tr><tr><td rowspan="3">千住側</td><td>南シングルエリア</td><td>88</td><td>20, 000 円</td></tr><tr><td>南シングルエリア 宿泊セット ダブルルーム</td><td>3</td><td>151, 000 円</td></tr><tr><td>南シングルエリア 宿泊セット ツインルーム</td><td>3</td><td>156, 000 円</td></tr><tr><td rowspan="4">西新井側</td><td>ペアエリア</td><td>30</td><td>34, 000 円</td></tr><tr><td>トリプルエリア</td><td>20</td><td>50, 000 円</td></tr><tr><td>4 人がけテーブル席</td><td>40</td><td>67, 000 円</td></tr><tr><td>北シングル席</td><td>60</td><td>17, 000 円</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>244</td><td>8, 401, 000 円</td></tr></table>	エリア	種類	席数	寄附額	千住側	南シングルエリア	88	20, 000 円	南シングルエリア 宿泊セット ダブルルーム	3	151, 000 円	南シングルエリア 宿泊セット ツインルーム	3	156, 000 円	西新井側	ペアエリア	30	34, 000 円	トリプルエリア	20	50, 000 円	4 人がけテーブル席	40	67, 000 円	北シングル席	60	17, 000 円	合計		244	8, 401, 000 円
	エリア	種類	席数	寄附額																												
	千住側	南シングルエリア	88	20, 000 円																												
		南シングルエリア 宿泊セット ダブルルーム	3	151, 000 円																												
		南シングルエリア 宿泊セット ツインルーム	3	156, 000 円																												
	西新井側	ペアエリア	30	34, 000 円																												
トリプルエリア		20	50, 000 円																													
4 人がけテーブル席		40	67, 000 円																													
北シングル席		60	17, 000 円																													
合計		244	8, 401, 000 円																													
※ 千住側 南シングルエリアの宿泊セットは、北千住駅西口徒歩約 3 分にあるホテル「アーバイン東京・上野 北千住」宿泊と観覧席をセットにした 2 名用の返礼品となる。																																
4 その他																																
① オンライン決済のみ寄附を受付																																
② 足立区外在住者のみ																																
③ 荒天時は中止となるが、寄附のため、中止の場合でも代替品の送付や寄附金の返金はしない。																																
5 今後の方針																																
web を活用したプレスリリースなどを通じて、広く区外に周知する。																																